

「運動器の10年」日本委員会 平成16年度事業報告

(平成16年4月1日～平成17年3月31日まで)

1. 会員の状況 (平成17年3月31日現在)

- 1) 参加団体会員 45 団体
- 2) 参加協力会員 5 団体
- 3) 支援会員 2 団体
- 4) 賛助会員 1 団体
- 5) 特別賛助会員 3 団体

(詳細は別紙1参照)

2. 報告書作成について

平成16年5月に「今後の運動器疾患研究のあり方に関する報告書」を作成し、厚生労働省に提出した。また、平成16年7月には、要約集「生活機能の低下予防から向上へ」を作成し各方面に配布した。

3. 日本学術会議について

日本学術会議第7部において、『「運動器の10年」世界運動の目指すもの～我が国における運動器疾患および障害の予防・治療研究推進のための基盤整備～』が承認された。

4. 分担研究者：越智隆弘先生の平成16年度科研費報告

越智委員が厚生労働省科学研究費「健康科学総合研究事業（主任研究者：河原和夫）」の分担研究者となり、「運動ならびに生活機能低下防止のために地方健康増進計画が果たすべき機能に関する研究」を進めている。

5. 日経新聞、NHK主催「からだ博」参加

平成16年8月3日～8日、東京ビッグサイトにおいて日経新聞、NHK主催「からだ博」が開催され、「運動器の10年」日本委員会も「協力」というかたちで参加した。6日間で81,016名が来場した。

6. 運動器フォーラム 2004（平成 16 年）

「運動器フォーラム」2004 を 5 都市にて開催した。〔（ ）は来場者数。〕

- 10 月 9 日 新潟「関節の健康づくり“自分の脚で健やかに歩こう”」（約 600 名）
- 10 月 10 日 札幌「整形外科治療でこんなに治る」（約 450 名）
- 10 月 24 日 岡山「老いに負けない体力づくり」（約 700 名）
- 10 月 31 日 福岡「すこやかトーク～足腰元気で、いきいきライフ～」（820 名）
- 11 月 6 日 東京「一緒に作ろう！元気な骨と関節 トーク&コンサート」（1093 名）

※平成 16 年 10 月 9 日に名古屋での開催も予定していたが、台風のため急遽中止となった。

7. 「運動器の 10 年」キャッチフレーズ公募

広報活動の一環として「運動器の 10 年」運動を広く国民にアピールするため、「運動器の 10 年」キャッチフレーズを募集した。

募集期間：平成 16 年 9 月 1 日～12 月 31 日まで

審査員：原島博、小野田隆雄、中山雅史、吉田和子（旧姓 沢松）、黛まどか

応募総数：8454 作品

受賞作品：最優秀作品「動く喜び 動ける幸せ」

優秀作品 「運動器、支えて動かす、筋・骨・関（キン・コン・カン）

「棺おけまであるいてゆこう」

佳作 「生涯現役 支える基本は 運動器」

「医師じゃなく「意志」が動かす運動器」

「あなたを動かす あなたが動かす 運動器」

「長生き・いきいき・運動器」

「思うまま 動ける幸せ 運動器」

8. 日本における Endorsement について

平成 16 年 11 月 24 日付で厚生労働省健康局田中慶司局長の声明文を頂戴した。BJD 本部より、INFOLETTER 38 に報告された。

9. 「運動器 NEWS」作成報告

「運動器の10年」日本委員会企画・第一製薬株式会社発行で、「運動器 NEWS」（全8回）を平成16年度はNo. 1～No. 4まで発行した。

No. 1 腰の痛み

No. 2 五十肩

No. 3 膝の痛み

No. 4 スポーツによる筋肉痛